

2021年4月24日(土)

## I-O DATAのNAS(HDL-AAXシリーズ)でのメール通知機能の設定方法



先日、私はI-O DATAのNAS(HDL-AAX3)を購入したものの、そのNASの機能の一部である「メール通知機能」の設定を長らく行っておりませんでした。ちなみに「メール通知機能」とは、NASのイベント(装置の起動や停止)や障害の発生の有無、ボリューム使用量の警告等をメールにて通知してくれる機能のことです。

そこで、このままだといけなと考え、昨日、「メール通知機能」の設定を実際に行ってみましたので、その時の経験談をここに書いておこうと思います。

**注意:**

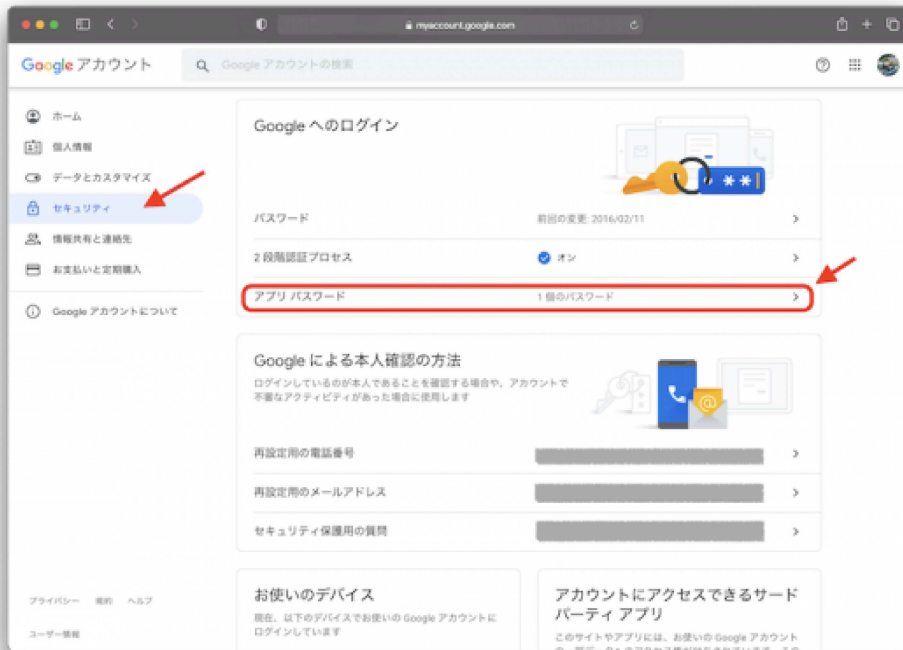
ご自分で作業をなされる場合は、必ず「I-O DATAのNAS(HDL-AAXシリーズ)」のマニュアル”

<https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-aax/>”を先に一読ください。新しいバージョンの提供や関連機能の環境の変化によって手順や設定内容が変わる場合があります。

## &lt;手順&gt;

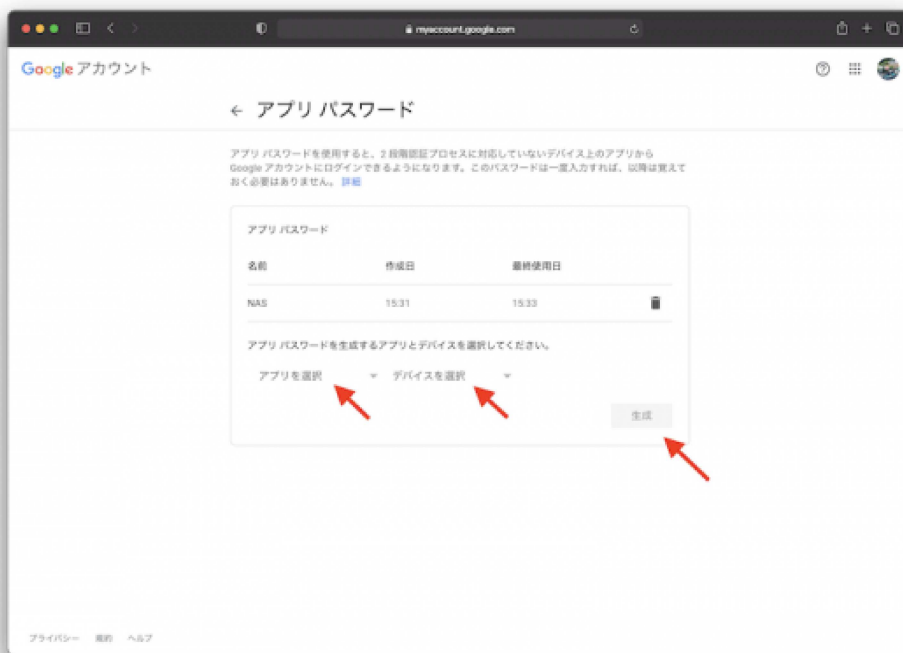
1) まず、送信メールサーバー(SMTPサーバー)へログインするためのアプリパスワードを生成します。今回、私はメールアカウントとしてGmailのアカウントを使用しました。アプリパスワードを必要とする理由は、このNASの「メール通知機能」が2段階認証に対応していないからです。

Gmailのアプリパスワードを生成するには、Googleアカウントのサイト”<https://myaccount.google.com>”にある「セキュリティ」→「Googleへのログイン」から「アプリパスワード」をクリックします。



以下の画面にて次の項目を設定し、「生成」ボタンをクリックします。そして、そこに表示されるアプリパスワードを控えます。

- アプリを選択: メール
- デバイスを選択: その他(名前を入力)(私は"NAS"と入力)



2) NASの管理ソフト「Magical Finder」を起動し、メールの基本設定をおこないます。具体的には「システム」→「通知」→「メール」→「基本設定」とクリックして進みます。



この画面では次の項目を設定し、「適用」をクリックします。

- SMTPサーバー: smtp.gmail.com
- SMTPポート: 587
- SSL暗号化通信: 有効
- 差出人メールアドレス: 任意(私は、自分のGmailアドレスを指定)
- メールエンコード: UTF-8 or ISO-2022-JP (私は、"ISO-2022-JP"を選択)
- 認証: SMTP AUTH(PLAIN) or SMTP AUTH(LOGIN)(私は、"SMTP AUTH(LOGIN)"を選択)
- ユーザー名: Googleアカウントのユーザー名(????@gmail.com)
- パスワード: 手順1)で求めたアプリパスワード

3)メールのテストを行います。具体的には「システム」→「通知」→「メール」→「通知設定」にて、次の項目を設定して「テストメール送信」をクリックします。

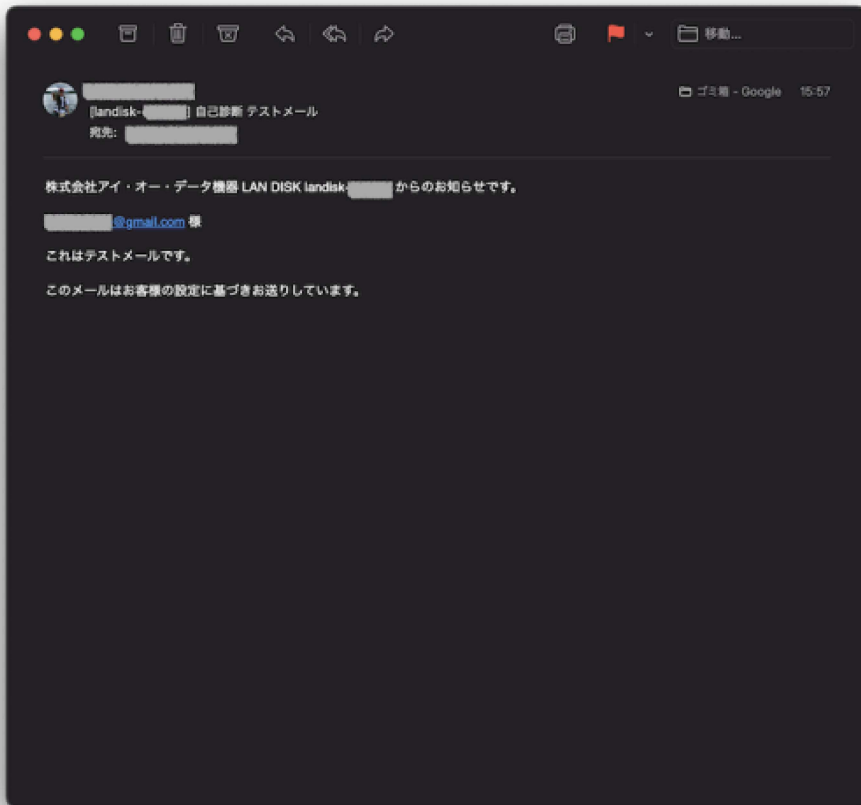
**注意: この時、通知項目には何もチェックを入れないでください。**

- 有効: チェックする。
- メールアドレス: 送信先のメールアドレス(私は、手順2)の差出人メールアドレス(自分のGmailアドレス)を指定)

メールの送信に成功すると以下のようなポップアップ画面が表示されます。



また、送信先のメールアドレスに以下のようなメールが届いたら設定はOKです。



注意:

- 「ボリューム使用量警告」と「使用量制限警告」は、「定期通知」を「有効」にしないとメール通知されません。具体的には「システム」→「通知」→「定期通知」にて「定期通知: 有効にチェック」する必要があります。(以下の画像を参考にしてください。)

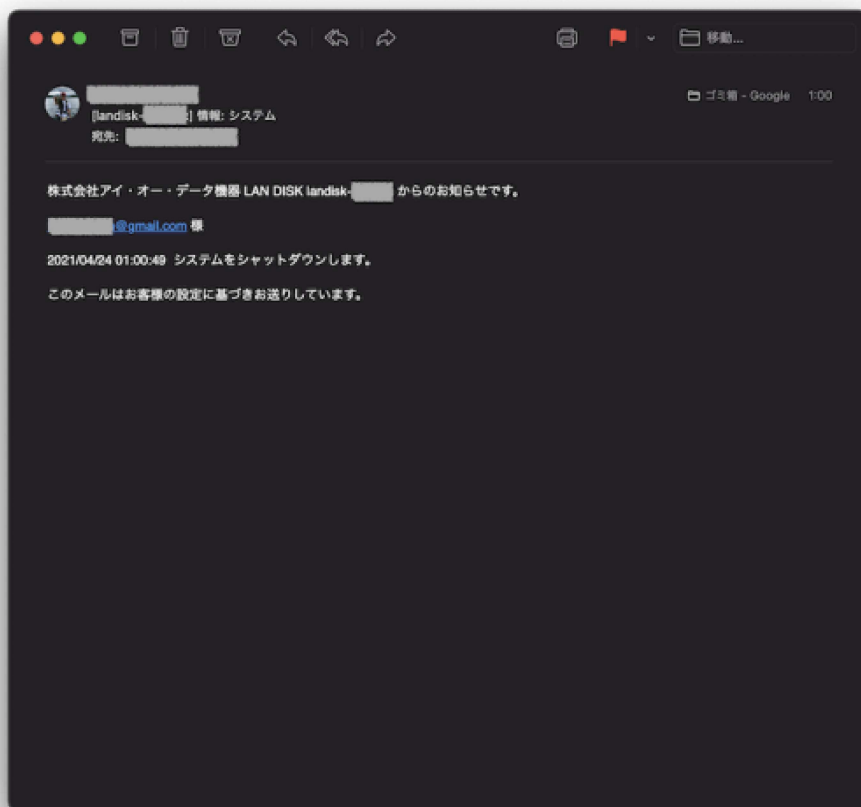


- 「定期レポート」は、「定期レポート」を「有効」にしないとメール通知されません。具体的には「システム」→「通知」→「定期レポート」にて「定期レポート: 有効にチェック」する必要があります。(以下の画像を参考にしてください。)



手順は以上です。設定が正しく行われているならば以下のようなメールが届くようになります。

- イベント時 (NASのシャットダウン時)



- 定期レポート

